

正の数と負の数 教科書 p.12 - p.14

1年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

0より小さい数を  といい、 「- (マイナス)」を使って、「-3」「-5」のように表します。

これに対して、0より大きい数を  といい、 「+ (プラス)」を使って、「+2」「+3」のように表します。

例 0℃より5℃低い温度は、-5℃と表されます。

1 次の温度を、記号+, - を使って表しなさい。  
【教 p.12 問1】

(1) 0℃より7.5℃高い温度

(2) 0℃より12℃低い温度

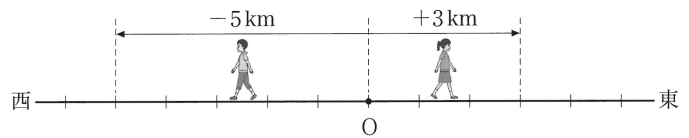
2 次の数を、正の符号、負の符号を使って表しなさい。

(1) 0より3小さい数

(2) 0より4.7大きい数

負の符号「-」は、基準について反対の性質をもつ数量を表すときにも使います。

例 東西に通じる道路があり、ある地点<sup>オ</sup>を基準に、東へ3km進むことを+3kmと表すとき、西へ5km進むことは-5kmと表すことができます。



3 次の数量を、+, - を使って表しなさい。  
【教 p.13 問4】

(1) 500円の利益を+500円と表すときの、800円の損失

(2) 今から10分前を-10分と表すときの、今から30分後

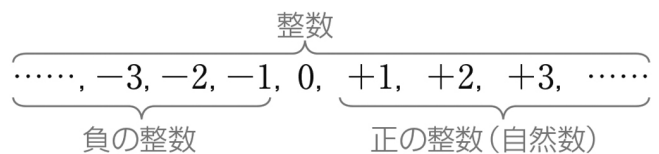
4 次のことを、負の数を使わないで表しなさい。

(1) -5kg 増える

(2) -4.5cm 高い

0は正の数でも負の数でもありません。

正の整数を  ともいいます。



5 次の数のうち、整数であるもの、自然数であるものを、それぞれ答えなさい。

-3, 0.5, +10, 0,  $-\frac{1}{3}$ , 7,  $-1\frac{3}{4}$

整数

自然数

# 正の数と負の数 教科書 p.12 - p.14

1年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

0より小さい数を **負の数** といい, **負の符号** 「- (マイナス)」を使って, 「-3」「-5」のように表します。

これに対して, 0より大きい数を **正の数** といい, **正の符号** 「+ (プラス)」を使って, 「+2」「+3」のように表します。

例 0℃より5℃低い温度は, -5℃と表されます。

1 次の温度を, 記号+, -を使って表しなさい。  
【例 p.12 問1】

(1) 0℃より7.5℃高い温度

+7.5℃

(2) 0℃より12℃低い温度

-12℃

2 次の数を, 正の符号, 負の符号を使って表しなさい。

(1) 0より3小さい数

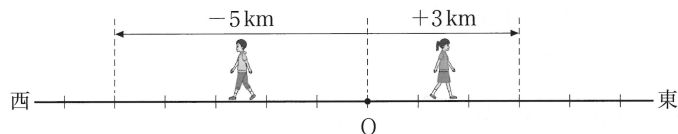
-3

(2) 0より4.7大きい数

+4.7

負の符号「-」は, 基準について反対の性質をもつ数量を表すときにも使います。

例 東西に通じる道路があり, ある地点<sup>オ</sup>を基準に, 東へ3km進むことを+3kmと表すとき, 西へ5km進むことは-5kmと表すことができます。



3 次の数量を, +, -を使って表しなさい。  
【例 p.13 問4】

(1) 500円の利益を+500円と表すときの, 800円の損失

-800円

(2) 今から10分前を-10分と表すときの, 今から30分後

+30分

4 次のことを, 負の数を使わないで表しなさい。

(1) -5kg 増える

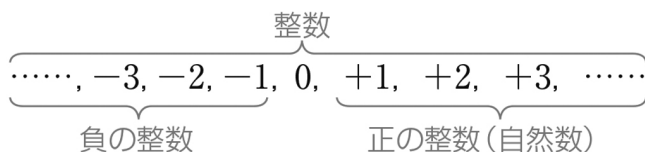
5kg 減る

(2) -4.5cm 高い

4.5cm 低い

0は正の数でも負の数でもありません。

正の整数を **自然数** ともいいます。



5 次の数のうち, 整数であるもの, 自然数であるものを, それぞれ答えなさい。

-3, 0.5, +10, 0,  $-\frac{1}{3}$ , 7,  $-1\frac{3}{4}$

整数 -3, +10, 0, 7

自然数 +10, 7

数の大小 教科書 p.15 - p.17

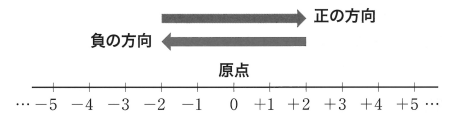
1年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

負の数をふくめた数直線は、右の図のように表すことができます。

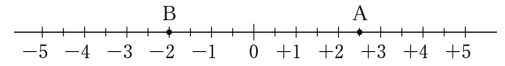
数直線で、0を表す点を  といいます。また、

数直線の右の方向を  , 左の方向を  といいます。

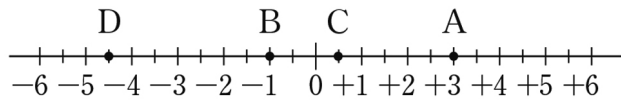
数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の  といいます。



例 右の数直線で、点A, Bに対応する数は、A...2.5, B...-2



1 下の数直線で、点A, B, C, Dの表す点を答えなさい。



A \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_  
C \_\_\_\_\_ D \_\_\_\_\_

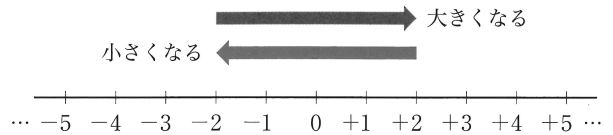
2 次の数の絶対値を答えなさい。

- (1) -8 \_\_\_\_\_  
(2) +1.3 \_\_\_\_\_

3 絶対値が  $\frac{6}{7}$  になる数を、すべて答えなさい。

\_\_\_\_\_

数直線では、正の向きに進むほど数は大きくなり、負の向きに進むほど数は小さくなります。



例 -2 と -4 を比べると、数直線上で、-2 は -4 より右にあるから、-2 の方が大きい数です。このことを、不等号 <, > を使って、「 $-4 < -2$ 」または「 $-2 > -4$ 」のように表します。

5 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。【教 p.17 問3】

- (1) +3, -3 \_\_\_\_\_  
(2) -5, 0 \_\_\_\_\_  
(3) -7, -8 \_\_\_\_\_

6 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。【教 p.17 問4】

- (1) 0, +4, -1 \_\_\_\_\_  
(2) -2, -9, -5 \_\_\_\_\_

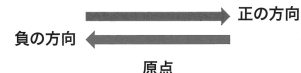
発展 A~E の5人の生徒が、75点を目標にして数学のテストを受けた。下の表は、この点を基準にして実際の得点との違いを表したものである。表を完成させなさい。

生徒	A	B	C	D	E
得点(点)	80	62		91	75
目標との違い(点)	+5		-7		

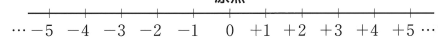
数の大小 教科書 p.15 - p.17

1年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

負の数をふくめた数直線は、右の図のように表すことができます。



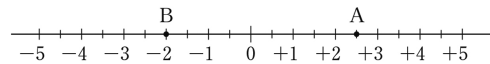
数直線で、0を表す点を **原点** といいます。また、



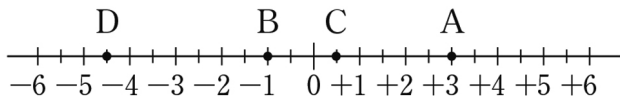
数直線の右の方向を **正の方向**，左の方向を **負の方向** といいます。

数直線上で、ある数に対応する点と原点との距離を、その数の **絶対値** といいます。

例 右の数直線で、点A、Bに対応する数は、A...2.5、B...-2



**1** 下の数直線で、点A、B、C、Dの表す点を答えなさい。



- A    +3                     B    -1     
C  +0.5                  D  -4.5

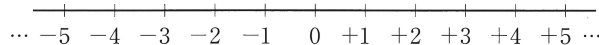
**2** 次の数の絶対値を答えなさい。

- (1) -8          8        
(2) +1.3                                            1.3

**3** 絶対値が  $\frac{6}{7}$  になる数を、すべて答えなさい。

- $\frac{6}{7}$    ,   + $\frac{6}{7}$

数直線では、正の向きに進むほど数は大きくなり、負の向きに進むほど数は小さくなります。



例 -2と-4を比べると、数直線上で、-2は-4より右にあるから、-2の方が大きい数です。このことを、不等号<、>を使って、「-4<-2」または「-2>-4」のように表します。

**5** 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。 【㉞ p.17 問3】

- (1) +3, -3       +3 > -3     
(2) -5, 0       -5 < 0     
(3) -7, -8       -7 > -8

**6** 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。 【㉞ p.17 問4】

- (1) 0, +4, -1                                         -1 < 0 < +4     
    または  
       +4 > 0 > -1     
(2) -2, -9, -5                                       -9 < -5 < -2     
    または  
       -2 > -5 > -9

**発展** A~Eの5人の生徒が、75点を目標にして数学のテストを受けた。下の表は、この点を基準にして実際の得点との違いを表したものである。表を完成させなさい。

生徒	A	B	C	D	E
得点 (点)	80	62	<b>68</b>	91	75
目標との違い (点)	+5	<b>-13</b>	-7	<b>+16</b>	<b>0</b>